長野県文化財保護審議会への諮問について

文化財・生涯学習課

下記の文化財を長野県宝、長野県有形民俗文化財及び長野県史跡に指定し、並びに長野県宝の指定を解除したいので、文化財保護条例（昭和50年長野県条例第44号）第４条第３項、第25条第２項及び第30条第２項、並びに第５条第２項の規定により、長野県文化財保護審議会に諮問する。

記

１　長野県宝に指定する文化財

	名称（所在地）	員数	所有者	概要及び指定理由
①	旧小田切家住宅 （須坂市）	10 棟	須坂市	○明治から昭和初期に製糸業で栄えた須坂で、糀、油、蚕糸などを営んだ小田切家の建造物群。建造物や部屋の配置などから繁栄期の製糸家の生活をうかがい知ることができる。また、主屋奥座敷の書棚や土蔵の陶板など建造物内部に意匠的に優秀な箇所がみられる。
②	千葉家文書 （下伊那郡阿智村）	3366 点	千葉一悳	○阿智村浪合の千葉家に残る古文書を中心とした歴史史料。江戸時代の関所、中馬（江戸時代の信濃、甲斐で発達した陸上運輸手段）の紛争や物流、人の動き、村政運営などを知る上で貴重な資料。
③	信州の特色ある縄文土器 （茅野市、塩尻市ほか）	158 点	岡谷市、諏訪市、伊那市、茅野市、塩尻市、安曇野市、川上村、御代田町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、南箕輪村、宮田村、上松町、大桑村、山形村、朝日村	○県内各地で出土した縄文土器のうち、顔面や動物装飾などがあり造形的に優れた文様・装飾を有している器種や、釣手や有孔鍔付きのものなど特徴的な器種で、信州で発達した「縄文文化」を象徴する縄文土器。観光資源としての今後の活用も見据え、包括して指定する。

２　長野県有形民俗文化財に指定する文化財

	名称（所在地）	員数	所有者	概要及び指定理由
①	小正月関係資料コレクション（長野市）	480点	長野市	○平成6年から長野市立博物館が収集・所蔵している、1月15日を中心とした小正月に、豊作などを祈念して行われる行事に係る資料コレクション。県下で展開した農耕儀礼の実態を知る上で重要。また、北は下水内郡、下高井郡から、南は下伊那郡、木曽郡に至る、広範囲に及ぶ資料があり、小正月行事の地域差を把握でき、研究資料としても評価できる。

３　長野県史跡に指定する文化財

	名称（所在地）	員数	所有者	概要及び指定理由
①	座光寺の石川除（飯田市）	1244㎡	飯田市、北原敬悟	○江戸時代後期に、天竜川と南大島川の合流点に築かれた割石二段積の堤防。石積みの他、水流を弱める中羽根、利水目的の水門、水見台など治水・用水に関わる施設も良好に保存されており、防災史を学ぶ上でも重要。

４　長野県宝の指定を解除する文化財

	名称（所在地）	員数	所有者	概要及び指定解除理由
①	松田家住宅主屋（千曲市）	1棟	千曲市	○武水別神社の神主屋敷であり、県内では数少ない神官住宅遺構。平成16年11月22日県宝指定。 ○平成29年9月6日に発生した火災により、大きな被害があり、江戸時代の建築とされた建物は焼損し、原形を留めておらず、建築年代推定の根拠とした部材のほとんどが焼失し、指定時の状態を維持していない。
②	松田家斎館（千曲市）	1棟	松田孝弘	○武水別神社の神主屋敷の中で、神事に欠かせない中心的な建造物。平成26年2月20日県宝指定。 ○平成29年9月6日に発生した火災により、大きな被害があり、江戸時代に再造された建物は焼損し、原形を留めておらず、建築年代特定の根拠とした棟札が焼失するなど、指定時の状態を維持していない。

【1①　旧小田切家住宅　写真】

①主屋（南面より）

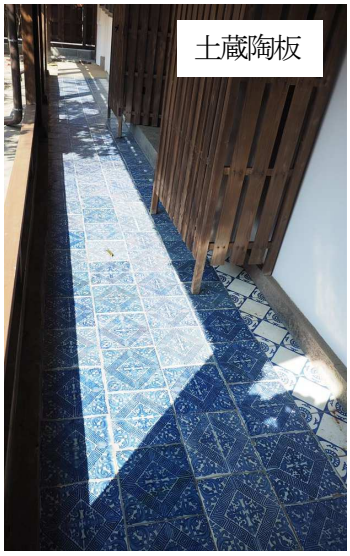
向かって右から　②店、③表門・上店（街道沿いより）

【1①　旧小田切家住宅　写真】

①主屋奥座

①主屋台

④～⑦土蔵群（北面より）



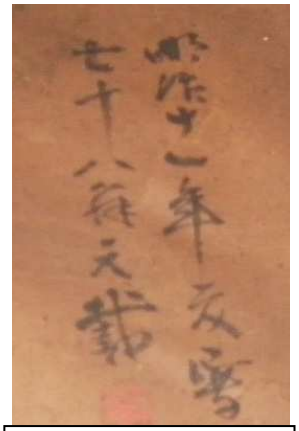
土蔵陶板

⑧車寄せ

⑩水車小屋

⑨向こうの家

水車

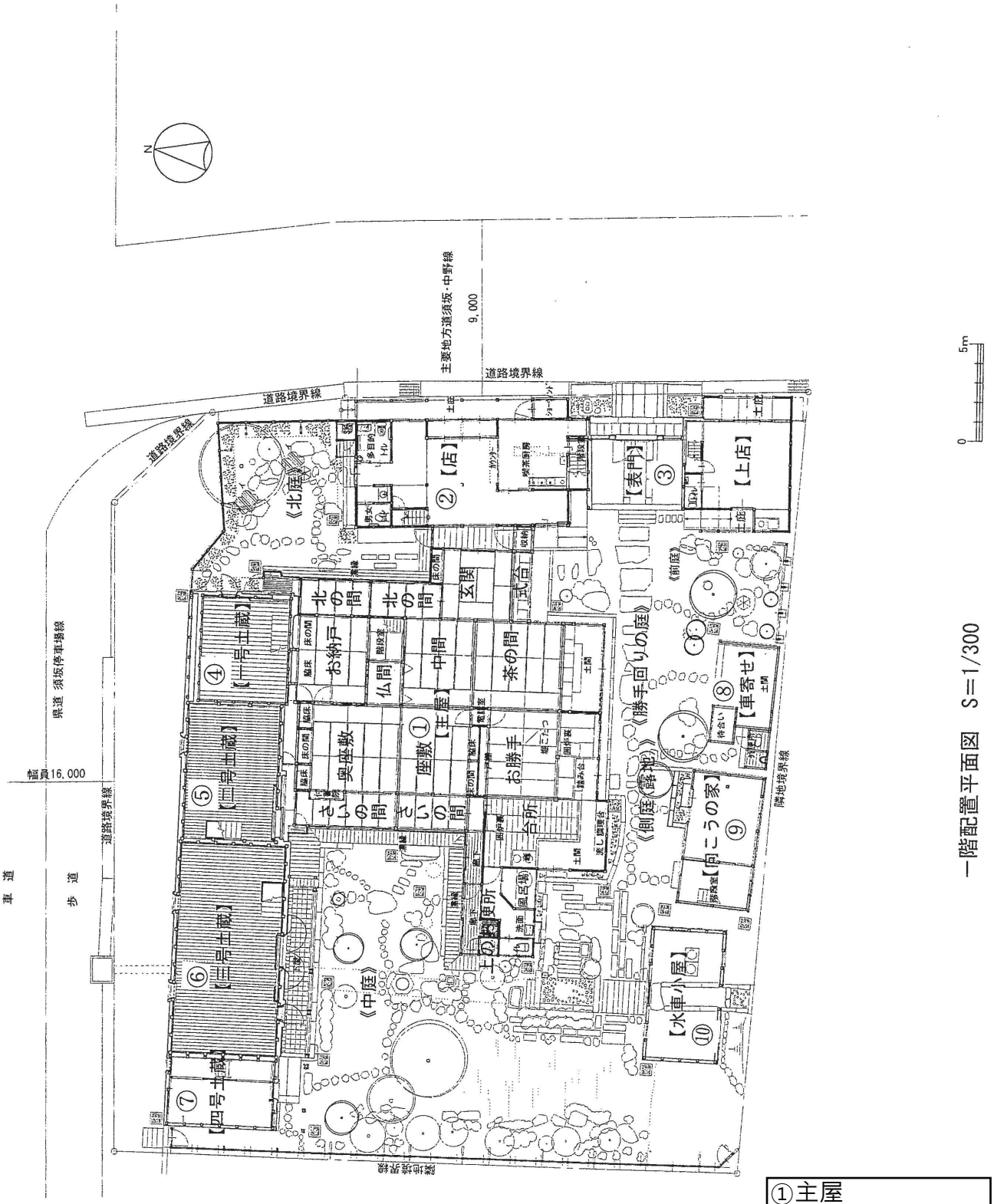


主屋北の間欄間墨書

【１①　旧小田切家住宅　位置図】

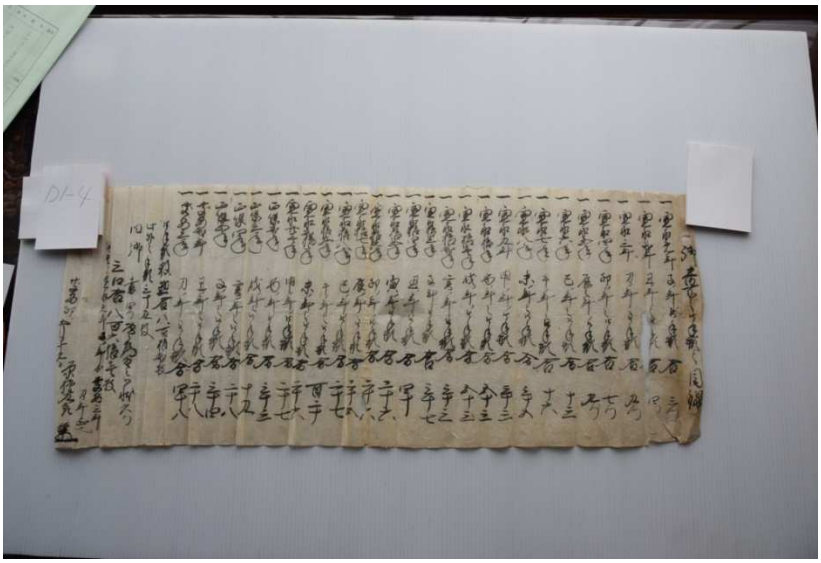
（図面）

【１① 旧小田切家住宅　平面図】



一階配置平面図　S＝1/300

①主屋
②店
③表門・上店
④一号土蔵
⑤二号土蔵
⑥三号土蔵
⑦四号土蔵
⑧車寄せ
⑨向こうの家
⑩水車小屋



関所目録（D-1-4）
御番所之御手形之目録

慶安４年(1651 年) ５月 19 日

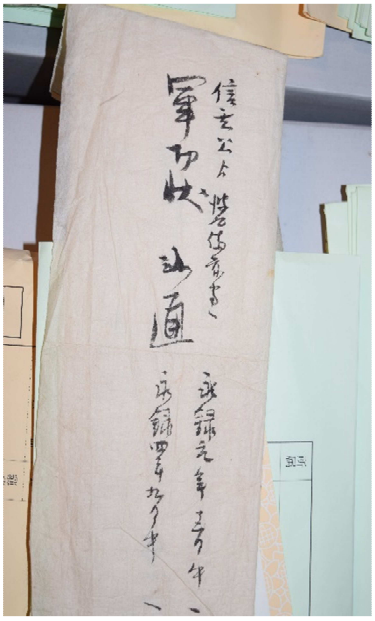
千葉家には浪合関所の通行手形が多量に所蔵されており、目録には寛永元年（1624 年）から慶安３年（1650 年）まで 27 年間にわたる浪合関所の手形 812 通について年毎に枚数が書き上げられている。

太政官高札

1868 年（明治元年、慶応４年）に出された五榜の掲示の内容

第一高札

一　人たるもの五倫の道を正しくすへき事
一　鰥寡孤独（かんかこどく）癈疾（ほしつ）のものをあはれむへき事
一　人を殺し家を焼き財を盗む等の悪行あるまじく事

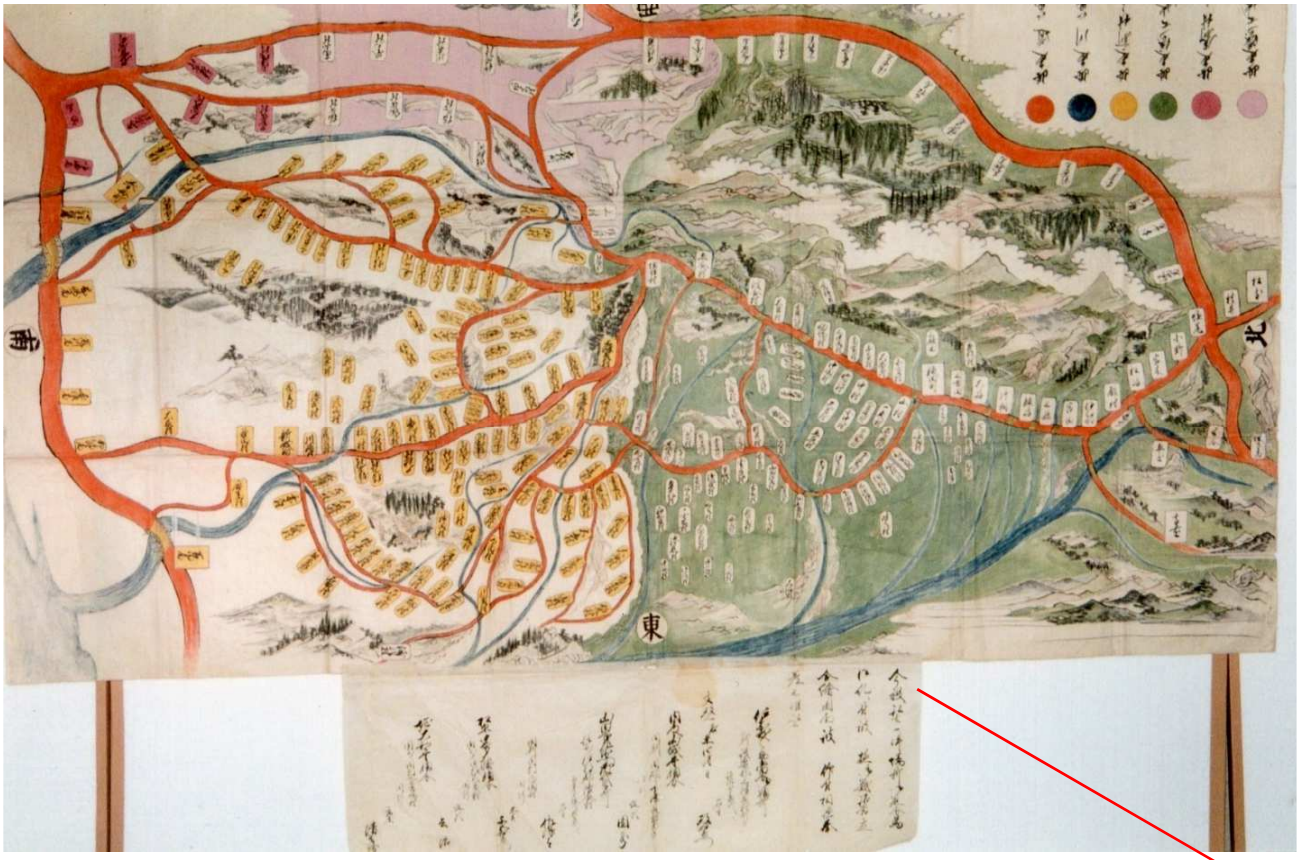


感状（G28-2）

武田信玄から浪合備前守に送られたもの。
「去上州表而度高名・・・」（知行加増 200 貫白銀 500 枚）
（上州雪野にて軍功）永禄元年（1558 年）
８通ある感状の一つ。いずれも写しが残っている。

（　　）は目録対象単位と番号

中馬街道図（縦 94,5 ㎝　幅 172.5 ㎝）



今般私共一件場所御見分為御糺に付、
被　遊御越、訴答立合絵図面被仰付、
相認奉左上候、以上
文政三辰年四月日
伊奈友之助当分御預所
三州設楽郡上津具村町方
訴訟方　惣代
名主　政右衛門
内藤山城守領分
同州同郡下津具村南方
同断
組頭　団蔵
山田茂左衛門内御代官所
信州伊那郡浪合村
相手方　六拾二ヶ村惣代
名主　佐源太
同州同郡向関村
同断
年寄　与五右衛門
松平中務大輔領分
同州同郡久米村
同断
組頭　兵治
堀大和守領分
同州同郡三日市場村
同断
庄屋　清兵衛

信州の馬稼ぎを中馬と言い、三州からやってくる馬稼ぎを中馬側では三州馬と言った。三州馬稼ぎが活発となると中馬側は三州馬を排除しようとし、三州馬側は中馬並みの利権を得ようとして紛争が生じた。文化 14 年（1817 年）三月に三州馬側では上津具村名主政右衛門等が奉行所に訴え、五月に中馬側では浪合村名主佐源太等が返答書を提出した。この一件につき土地御検分として御普請役市川丈助、小野貢助が津具村へ出張し、取調を行った。

その結果、文政三年（1820 年）八月二十五日、裁許が下った。（別史料より）上の絵図は市川、小野に命じられて文政三年の四月に作成されたものである。

地図の記載は、北は松本、諏訪宿、岡谷、西は妻籠宿、中津川宿、東は和知野村（阿南町）、南は名古屋町、吉田宿（豊橋市）などが読み取れ、信州、尾州、三州の村が色別に描かれている。

【１②　千葉家文書 位置図】
千葉家
智里グラウンド
中平
153
大沢
駒場
城山
栄町
満蒙開拓平和記念館
阿智中
奥藤
伍和
上郷
中野
阿智村
皇大神社
阿智第二小
大鹿
大野
日の入山
河内局
智里
日の入
西栗矢
三階峰
北青見平
原の平
伍和
あららぎCC
智里
寺尾
あららぎ高原スキー場
南青見平
松沢山
寒原
寒原峠
下條村
盲老人ホー
花菱
阿智村
浪合
伍和
243
睦沢
浪合トンネル
浪合小
陽皐
村役場振興室
一の萱
浪合関所跡
浪合グラウンド
御所の里
ふれあい館
もみじ平キャンプ場
中平
鍋割
阿智村
亀沢山
汗馬山
和合
桐橋
横岳
浪合
治部坂高原
陣畑
治部坂高原スキー場
和合水力発電所
治部坂峠
宮沢
長根山
平谷村
蛇峠山
和合
フロヤ沢
岡平沢
1.1km
五座小屋峠

県宝候補「信州の特色ある縄文土器群」

各市町村の主な土器

岡谷市榎垣外遺跡「顔面把手付深鉢形土器」

高さ 39.5cm

諏訪市穴場遺跡「動物装飾付釣手土器」

高さ 21.0cm

茅野市尖石遺跡「蛇体把手付深鉢形土器」

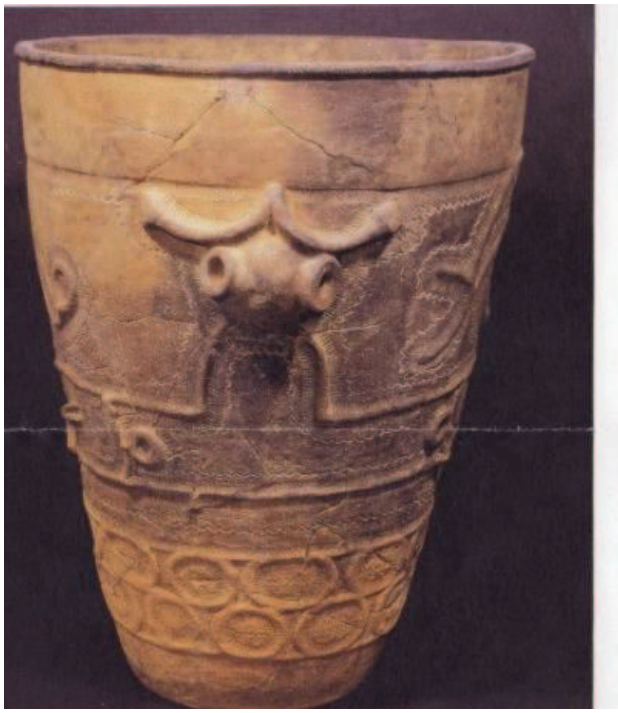
高さ 26.0cm

原村前尾根遺跡「顔面装飾付釣手土器」

高さ 30.0cm

県宝候補「信州の特色ある縄文土器群」

各市町村の主な土器



富士見町曽利遺跡「動物装飾付深鉢形土器」
高さ 55.5cm

箕輪町上の林遺跡「動物装飾付有孔鍔付土器」
高さ 32.1cm

南箕輪村久保上ノ平遺跡
「土偶装飾付有孔鍔付土器」　高さ 29.9cm

宮田村中越遺跡「動物装飾付有孔鍔付土器」
高さ 34.0cm

県宝候補「信州の特色ある縄文土器群」

各市町村の主な土器

辰野町樋口内城遺跡「顔面把手付深鉢形土器」

高さ 39.5cm(現高)

伊那市原遺跡「深鉢形土器（唐草文系土器）」

高さ 40.2cm

山形村下原「有孔鍔付土器」

高さ 42.3cm

朝日村熊久保遺跡「顔面装飾付深鉢形土器」

高さ 54.0cm

県宝候補「信州の特色ある縄文土器群」

各市町村の主な土器

安曇野市他谷遺跡「両耳付壺形土器」
高さ 20.3cm

大桑村大野遺跡「顔面装飾付有孔鍔付土器」
高さ 42.5cm(現高)

上松町吉野遺跡「顔面装飾付深鉢形土器」
高さ 22.0cm(現高)

塩尻市平出遺跡「深鉢形土器（唐草文系土器）」
高さ 69.0cm

県宝候補「信州の特色ある縄文土器群」

各市町村の主な土器

川上村大深山遺跡「顔面装飾付釣手土器」
高さ 28.5cm

御代田町宮平遺跡「顔面装飾付釣手土器」
高さ 26.6cm

県宝諮問予定「信州の特色ある縄文土器群」候補物件一覧

地域		市町村	器種名													計
			深鉢	顔・土偶	鉢	釣手	顔	有孔鍔付	顔・土偶	台付深鉢	台付鉢	片口深鉢	双口	壺	筒・コップ等	
中信	松本	山形村	1			3		1								5
		朝日村	1	1												1
		安曇野市									1			2		3
		塩尻市	19	3	1	2		1		1					1	25
	木曽	大桑村						1	1							1
		上松町	1	1												1
南信	諏訪	岡谷市	15	2	2	1		1								19
		諏訪市	6			1		2								9
		茅野市	36	3		2	1	4		2		1	1		1	47
		原村	15	2	1	1	1	1								18
		富士見町	4	2		1										5
	上伊那	箕輪町	3	1				1								4
		南箕輪村				1		1	1		1					3
		宮田村						1								1
		辰野町	3	1												3
		伊那市	7	1		3				1						11
東信	佐久	川上村				1	1									1
		御代田町				1	1									1
計			111	17	4	17	4	14	2	4	2	1	1	2	2	158

【２①　小正月関係資料コレクション　写真】

ドウロクジン （長野市若穂）3(A-1)	性器形態物 （長野市芋井）6(A-2)
オンベ（御幣） （長野市松代）39(A-3)	杵と臼 （北安曇郡小谷村）48(B-1)
米俵 （長野市芋井）63(B-2)	山下家のツクリモノ　稲穂 （木曽郡上松町）74 (B-3)

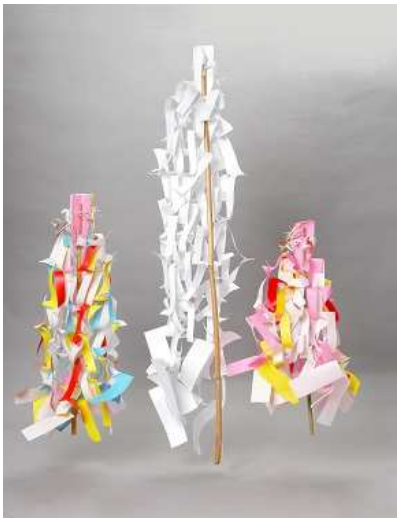
【２①　小正月関係資料コレクション　写真】

絵馬
（北安曇郡小谷村）82(B-4)

丸山家のツクリモノ　大根
（木曽郡上松町）83(B-5)

丸山家のツクリモノ　サイノカミに供える花
（木曽郡上松町）92(C-1)

ゴイワイボウ
（飯田市上村）104(C-2)

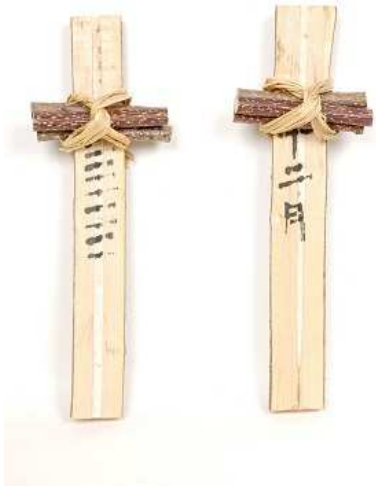


オンベ（御幣）
（長野市芋井）105(C-3)

小豆粥用箸
（北安曇郡小谷村）125(D-1)

【２①　小正月関係資料コレクション　写真】

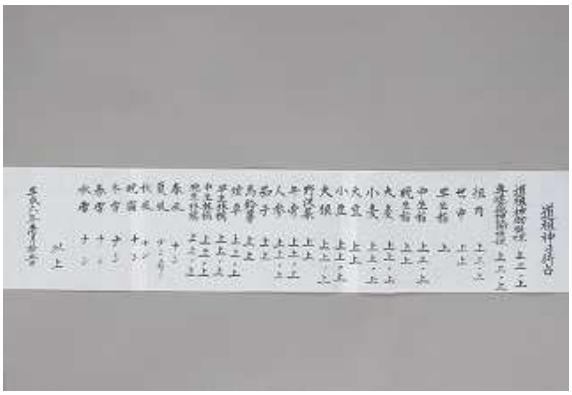
松本家のツクリモノ　鳥追いの拍子木
（長野市小田切）126(D-2)



丸山家のツクリモノ　十二字書き
（木曽郡上松町）132(D-3)

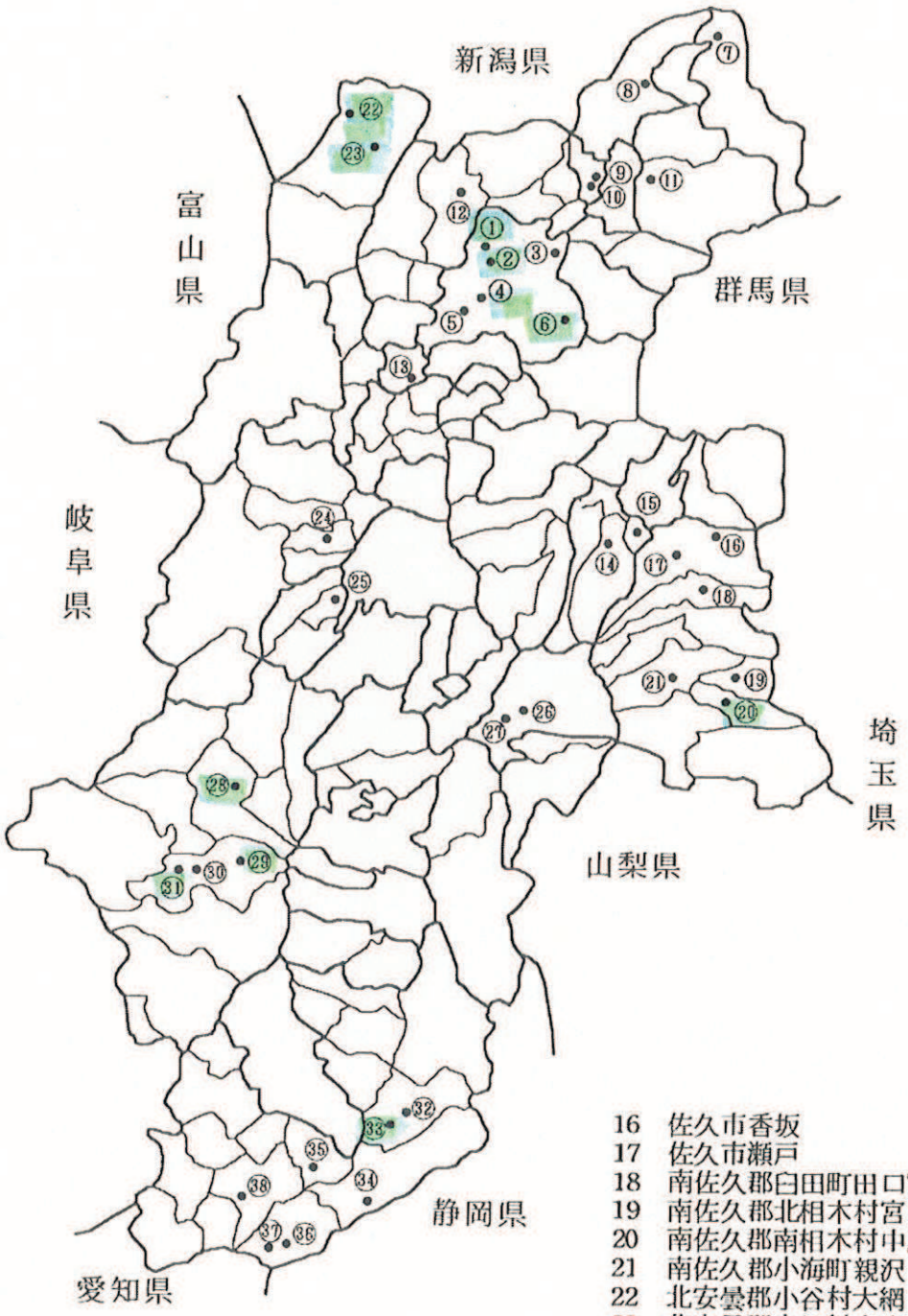
刀
（木曽郡木曽町福島）159(D-4)

中島家のツクリモノ　花を削る刀
（南佐久郡南相木村）162(E-1)



道祖神日待占の記録
（長野市若穂）172(F-2)

【２①　小正月関係資料コレクション　分布図】



1　長野市芋井
2　長野市小田切
3　長野市長沼
4　長野市川中島町
5　長野市篠ノ井
6　長野市若穂
7　下水内郡栄村白鳥
8　飯山市瑞穂針田
9　下水内郡豊田村上今井道光寺
10　下水内郡豊田村上今井
11　下高井郡山ノ内町宇木
12　上水内郡戸隠村戸隠神社
13　更級郡大岡村高峯寺
14　北佐久郡望月町茂田井
15　北佐久郡浅科村
16　佐久市香坂
17　佐久市瀬戸
18　南佐久郡臼田町田口宮代
19　南佐久郡北相木村宮ノ平
20　南佐久郡南相木村中島
21　南佐久郡小海町親沢
22　北安曇郡小谷村大網
23　北安曇郡小谷村中土清水山
24　南安曇郡三郷村
25　東筑摩郡山形村小坂
26　茅野市玉川
27　茅野市塚原
28　木曽郡木曽福島町黒川
29　木曽郡上松町野口
30　木曽郡上松町田口
31　木曽郡上松町下島
32　下伊那郡上村中郷
33　下伊那郡上村上町
34　下伊那郡南信濃村此田
35　下伊那郡泰阜村温田
36　下伊那郡天竜村坂部
37　下伊那郡天竜村大河内
38　下伊那郡阿南町新野

※市町村名は合併前市町村名

【３①　座光寺の石川除　写真】

写真１　堤体（右から下段、上段、最上段：市道路面）

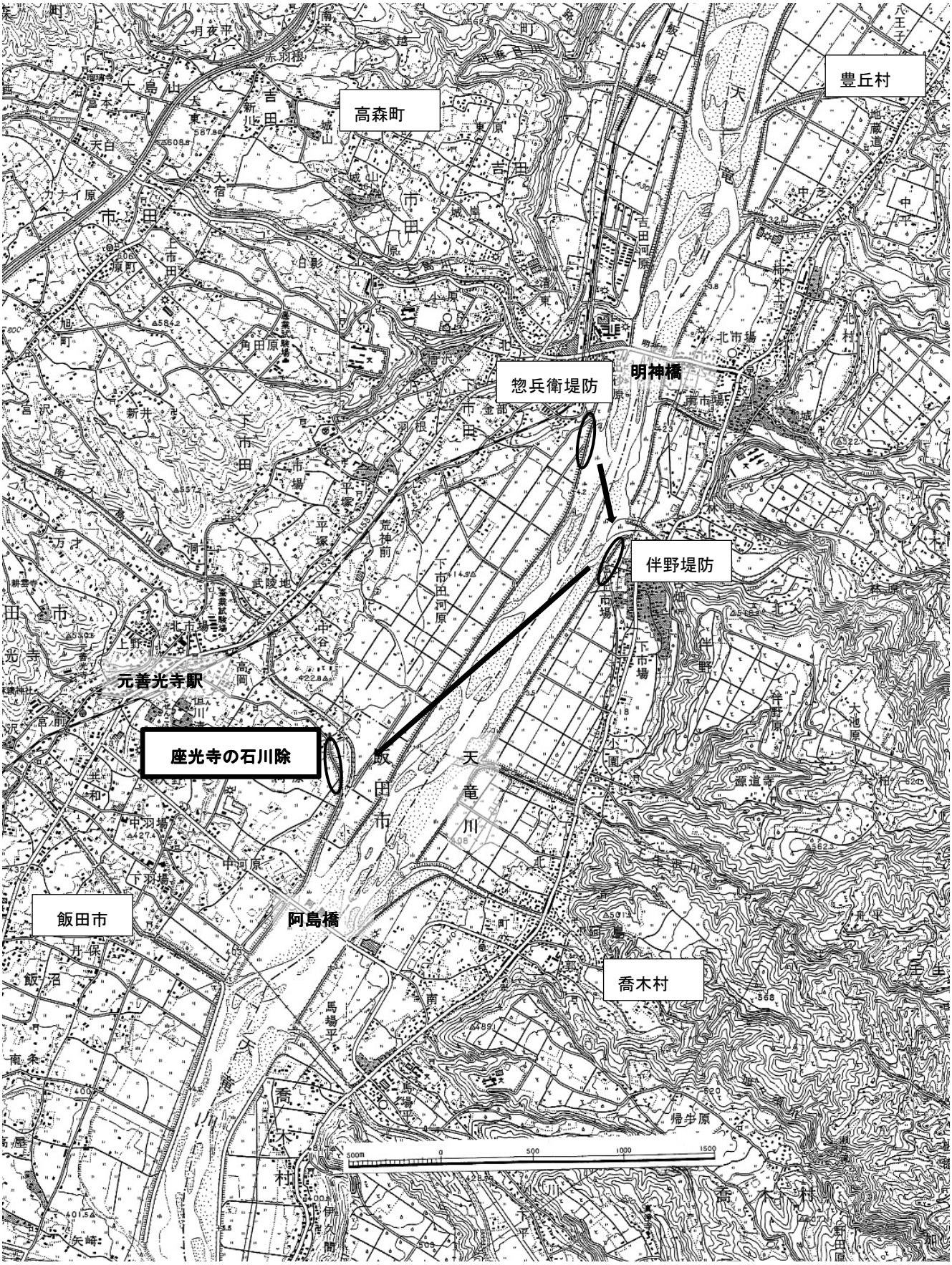
写真２　中羽根部分

【３①　座光寺の石川除　写真】

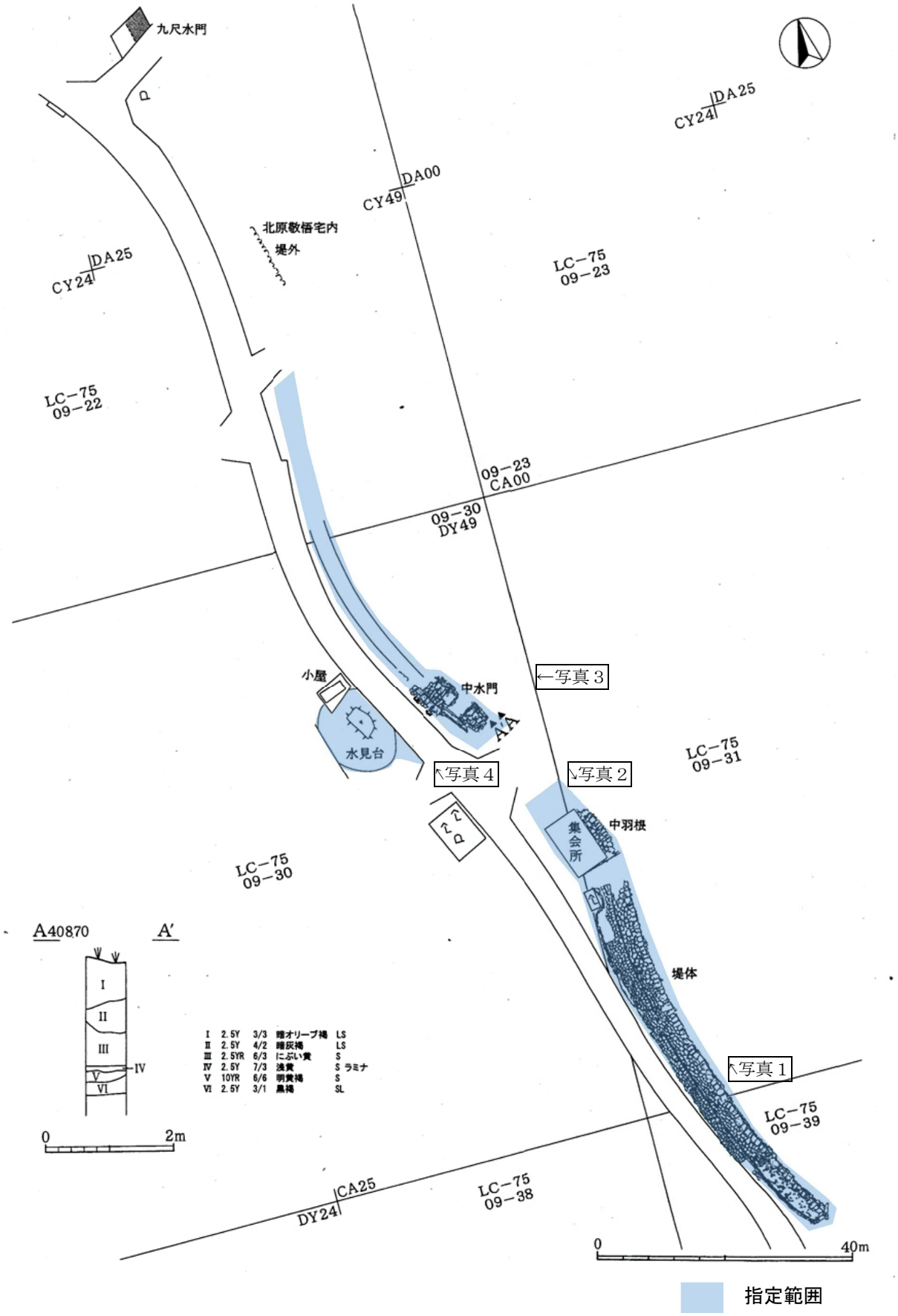
写真３　中水門（現在は梁石下部まで埋土保存されている）

写真４　水見台（市道部分は指定対象外）

【３①　座光寺の石川除　位置図】



【３①　座光寺の石川除　全体図】



【4①　松田家住宅主屋　写真】

火災前　主屋　北東から

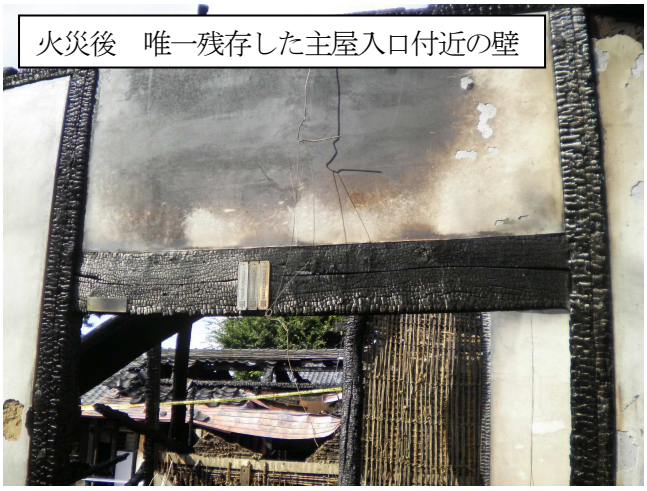
火災前　主屋　南から

火災後　主屋中央から味噌蔵を望む

【4①　松田家住宅主屋　写真】

火災後　主屋中央から南東方向を望む

火災後　主屋中央から北方向を望む



火災後　唯一残存した主屋入口付近の壁

火災後　主屋中央から斎館を望む

【4②　松田家斎館　写真】

火災前　斎館正面

火災後　斎館正面

【4②　松田家斎館　写真】

火災前　斎館南面

火災後　斎館南面

火災後　斎館北面

火災前　斎館内部

火災後　斎館内部　南面より

火災後　斎館北東角面

【４①②　松田家住宅主屋、松田家斎館　位置図】

松田家配置図

料理の間
主屋
新座敷
斎館
武水別神社
大門
新住宅
森下区公民館
消防詰所
収蔵庫
西の蔵
味噌蔵
長屋門
畑
井戸
水路
案内板・サイン・説明板①～㉟